

第 16 次 中期 経営 計画 (2018 年度 ~ 2020 年度)

〈テーマ〉

変革への挑戦 ~すべてはお客さまのために~

基本方針

1. お客さまとの共通価値創造

お客さま本位の良質な金融サービスを提供することで、企業の課題解決や個人の資産形成等をお手伝いし、結果として、地域経済の活性化や地方創生に貢献していきます。

2. 生産性の向上

お客さまへの提案や地域貢献にかける時間を創出するため、事務の見直しや営業体制の再構築を図っていきます。

3. リスク管理・ガバナンスの強化

リスク管理の重要性に鑑み、経営管理態勢の高度化により、持続的な成長と中長期的な企業価値向上を図っていきます。

重点方針 3 本柱

重点項目

収益構造改革

- フィービジネスの拡充 (新たな領域の開拓)
- 資金運用力の強化
- コアビジネス (強み) の強化
- お客さまとの接点拡大

お客さま本位の業務改革

- 生産性のさらなる向上
- 本部による営業店サポート強化
- 経営資源の再配賦
- 戦略的投資の強化

役職員の行動改革

- お客さまとの時間の拡大
- お客さま本位の提案力の強化
- お客さまニーズの実現力の強化
- 働き方改革・ダイバーシティの推進

計数目標

【目標期限】 2021年3月末

収益性

当期純利益 60億円以上
 コア業務純益 100億円以上
 ROE (株主資本ベース) 5%以上

地域の皆さまの課題を捉え、その解決に向け、
「ふるさと銀行」ならではの
三位一体のソリューションを提供することで、
中期経営計画の戦略を推し進め、
目標の達成を目指す



重点戦略

個人営業戦略

法人営業戦略

有価証券市場戦略

エリア戦略

チャンネル戦略

BPR 戦略

人材育成活用戦略

目指す姿

地域・お客さま・株主にとって かけがえのない銀行

当行が目指す「地域・お客さま・株主にとってかけがえのない銀行」とは、「地域」、「お客さま」、「株主」をはじめとする各ステークホルダーの皆さまから必要（かけがえのない）とされる銀行です。

経営理念に基づき、「お客さまとの共通価値創造」、「生産性の向上」、「リスク管理・ガバナンスの強化」を当行の隅々までしっかりと根付かせ、ご期待に応えられるようにしてまいります。

安全性

総預金残高
2兆4,000億円以上
貸出金残高
1兆7,500億円以上

健全性

自己資本比率 8%以上
不良債権比率 2%台